

北朝鮮ミサイル失敗



韓国発表

日本領域へ影響なし

北朝鮮西岸から発射

韓国の金星煥外交通商相は13日の記者会見で、北朝鮮が長距離弾道ミサイルを発射し「失敗したと確認した」と述べた。日本政府は藤村修官房長官が午前8時半すぎに記者会見し、北朝鮮から午前7時40分ごろ、何らかの飛翔体が発射されたと発表。日本政府筋は、飛翔体は上空約100キロの付近で、少なくとも三つに分裂したと明らかにした。

米CNNテレビも米政府高官の話として、発射は失敗したと伝えた。日米韓などは過去の国連安全保障理事会決議違反として、新たな決議や声明を含め対応を検討する。

藤村氏によると飛翔体の発射場所は北朝鮮西岸。飛翔体の発射数は不明だが、南の方向へ発射され、発射後、数個に分かれたもようだと言った。藤村氏は「わが国への落下物などによる影響は一切ないと考える。国民の皆さんは冷静に平常通りの生活、業務に就いていただくようお願いする」と述べた。

田中直紀防衛相は「何らかの飛翔体が北朝鮮から発射されたとの情報を得ているが、洋上に落下

したもようだ。わが国領域への影響は一切ない」と記者団に述べた。飛翔体が1分以上飛行したとも述べた。同時に「不測の事態に備えて引き続き緊張感をもちつて万全の態勢で臨んでいく」と強調した。政府は13日午前8時40分から官邸で安全保障会議を開いた。

北朝鮮は12、16日の午前7時から正午までの間に発射すると予告。12日は発射されなかった。政府は首相官邸を中心に警戒態勢を続けた。野田佳彦首相は発射に備え、予告時間が始まる午前7時より前に官邸に入った。

発射に失敗したロケット「銀河3号」とみられる長距離弾道ミサイルは8日、北朝鮮北西部・東倉里

防衛省は日本領域内にミサイルの一部が落下してきた場合に備え、迎撃能力を持つイージス艦を周辺海域に展開させるとともに、地対空誘導弾パトリオット(PAC3)を沖繩や首都圏に地上配備し迎撃態勢を取った。

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号 下野新聞社

〒320-8686

電話 028-625-1111

郵便振替口座00350-0-407

©下野新聞社2007

読者室 028-625-1179

(受付・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売局 028-625-1120

広告局 028-625-1133

事業局 028-625-1134

下野新聞社ホームページ

<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

フリーダイヤル

0120-810081

下野新聞購読お申し込みは

携帯、スマホで栃木のニュースを!!



下野新聞 SOON 月額262円

下野新聞 検索